

(仮称)本郷公園

高座クリーンセンターのそばで、(仮称)本郷公園を整備しています。本郷の豊かな自然を生かしながら、将来に渡って施設周辺の環境を良好に保つため、高座清掃施設組合と本郷自治会がワークショップ形式で計画した公園です。公園の面積は約3.7haで、整備は「第1工区」「第2工区」の2期に分けて行います。

地域の活気を生み出す公園に

本郷は都市近郊農業が盛んな地域です。広い樹木地や目久尻川の自然資源、大古道や養蚕の村として歴史の風景を残し、文化資源も豊富にあります。このように恵まれた環境を高座クリーンセンターの整備と連携させ、地域内外から多くの人が訪れる公園を整備することで地域全体の活気を生み出すことがねらいです。

第1工区完成予想図

※実際の整備予定と異なる場合があります



第1工区は、ことし秋完成予定

広さ約1.2haの第1工区は、ことしの秋に完成します。メイソンの「芝生広場」の周りには、四季折々の草花が彩る「花木園」や自生する樹木を自然のままに生かした「自然樹林」を配置するほか、舗装広場、散策できる園路も整備します。さらに、将来的な広域避難場所としての位置付けも想定し、防災井戸や防災トイレも設置します。



整備中の第1工区(市道2152号線側から)

広さは第1工区の約2倍！ 4年後には第2工区も

敷地面積約2.5haの第2工区には、広大な芝生敷きの広場を整備します。園内を周遊できるランニングロードや新幹線が見える見晴らし台、団体利用を想定したバス駐車場などもあります。平成35年度に完成予定です。

本郷地区の新たな風景

季節の花と富士山の競演 地域住民が育む花壇

地域住民の手で植えられた季節折々の花々と大きな新施設とのコントラストで、新たな風景が生まれています。場所は老人福祉センター本郷荘に面する畑。昨秋には、本格稼働を待つ高座クリーンセンターを背景にして整然と並ぶ菊の風景が、市内外から訪れた多くの人々の足を止めました。地域の皆さんの年間を通じた取り組みで、無機質になりがちな景色に彩りを添えています。



訪れた人の目を楽しませた約300株の「ざる菊」



4月に見頃を迎えるビオラの植え込みには、子どもたちも参加

海老名の花の名所になれば

花植えは今から5年前、協議会で始めました。年に2回、ビオラとざる菊を植えています。地域柄、農家が多いので栽培には自信があります。肥料の配合や細やかな手入れで、きれいに咲かせていますよ。昨年の秋、ざる菊の記事が初めて新聞に掲載された時は、連日市内外から大勢の方が来てくれて嬉しかったですね。

春のビオラも見ごたえがあります。ことしは3500株を地域のお子さんも加わって総勢30人で植えました。高座クリーンセンターがオープンする4月は花が大きくなって一番見頃じゃないでしょうか。今回はビオラを「祝KOZZA」という花文字にしたんですよ。展望室から探してみてください。ここが海老名の花の名所になってくれると嬉しいですね。



高座クリーンセンターを背に
右から古郡さん、安藤さん、石川さん

インタビュー

高座清掃施設組合
処理場対策協議会 会長 古郡義夫さん

大事に使いましょう 私たちのごみ処理施設



新しいごみ処理施設を将来にわたって良好に維持管理していくためには、燃やせるごみの減量化が不可欠です。炉の傷みは稼働時間と関係が深く、たくさん使用す

ればするほど新たな炉の設置までのサイクルが短くなります。新たなごみ処理施設が少しでも長く稼働できるよう、大事に使いましょう。処理費用削減のためにも、ごみの減量化や分別の徹底をお願いします。

なお、9月30日から実施予定の「ごみの有料化」「戸別収集」の詳細は、本誌でご案内します。

